

2020年3月26日

○ 3月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の設楽でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故が発生してから、今月の11日で丸9年が経過いたしました。今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- 本日、私からは2点お話しをさせていただきます。
- まずはじめに、当発電所の取り組み状況についてです。

現在、原子力規制委員会により、7号機の工事計画に関する審査を進めていただいております。本日午後開催される審査会合においても、ブローアウトパネルの改良方針に関する追加説明等を行う予定です。引き続き、審査に真摯かつ丁寧に対応してまいります。

また、当発電所では、福島第一原子力発電所の事故の教訓を踏まえ、耐震強化工事、火災防護対策、内部溢水対策など、新規制基準に基づいた様々な安全対策工事を実施しています。今後も、安全を最優先に、着実に工事を進めてまいります。

なお、これらの取り組みを確実に進められるよう、当発電所では、私をトップとした危機管理体制を構築し、新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止対策を講じています。協力企業も含めた全職員への周知徹底を図り、引き続き、対策を徹底してまいります。
- 次に、地域の皆さまにご利用いただいているPR施設や各種イベントおよび発電所視察についてです。

既にお知らせしているとおり、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、当発電所のPR施設である「サービスホール」「柏崎エネルギーホール」「TEPCO プラザ柏崎^{カムファイ}Comfy」「刈羽ふれあいサロンき・な・せ」の4施設を休館とし、各種イベントや発電所視察も中止とさせていただいております。これらの休止期間につきましては、現在の状況に鑑みて4月末まで継続することといたしました。ご利用を予定されていた皆さまに大変申し訳なく思っておりますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

再開の時期につきましては、国内での感染状況等の情勢を見極めた上で判断し、改めて皆さまにお知らせさせていただきます。

- 最後に、所長の人事発令があり、今月末をもちまして柏崎刈羽原子力発電所長の任を離れることとなりました。2016年6月末に着任してから3年9ヶ月の間、地域の皆さまをはじめ、国や自治体、そして報道関係の皆さまなど、大変多くの方々から貴重なご意見をいただき、様々なご支援とご指導を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

私はこの柏崎刈羽の地に3度赴任し、地域の皆さまと様々な交流をさせていただくことができました。4月からはフェローという立場になりますが、常にこの地の皆さまのお気持ちを念頭に置いて、引き続き原子力の一層の安全に寄与してまいりたいと思っています。

改めまして、皆さまには大変お世話になりましたこと、お礼申し上げます。

- 本日、私からは以上です。

以上